# 静かに反戦平和訴え

## 綾羽一紀追悼公演『降る星のごとく』反響

静かに反戦平和を訴える『降る星のごとく』が九月下旬に波除の石炭倉庫で上演され、感動を呼びました。昭和十九年、ゾルゲらと共に死刑になった平和主義者・尾崎秀実の獄中書簡をベースに、作家の故綾羽一紀さんが脚本。あんがいおまるさんが演出（出演も）。今年五月に亡くなった綾羽さんの追悼公演としてあんがいおまる一座が上演。

―昭和十六年。尾崎は突然、スパイ容疑で逮捕される。新聞記者を辞し、戦争に反対するため近衛内閣のブレーンに入ったが、軍部はそれを許さず、ゾルゲとの接触を口実に容疑がかけられたのだ。厳しい取り調べの中、無罪を信じながら妻や一人娘に手紙を送り続けるが、遂に「死刑」宣告。悲しみに沈む家族を尾崎は励ます。「人生はどんなに苦しいことがあっても、しかも生きるに値する」と。

静かに平和を訴えた『降る星のごとく』の一場面

綾羽作品を何度も観てきたという五十代男性は、鑑賞後、「尾崎秀実の人生と、文学で現代の不条理に挑んだ綾羽さんの人生が重なり、胸が一杯になりました」と話していました。

**■ユニット・人間やろか『ザ・レジェンド オブ おれおれVSふりふり』**　世の現状をぼやく老若男女が「喜劇タッチで社会のことを考えてもらお」と旗揚げした市民劇団の第四弾。川津祐介作・出演、あんがいおまる演出。十月二十二日（土）十四時、二十三日（日）十三時、十五時半。前売一般千八百円。問合せ・申込は会場の石炭倉庫（波除六―五―一八、JR弁天町から国道四三号を北進、安治川堤防突当り右すぐ。☎六五八一―〇六六四）へ。

# 原爆の真実に迫る

## 18、19日『峠三吉 原爆展物語』

日本の現状をもたらした第二次大戦と原爆の真実に迫る『峠三吉 原爆展物語』が今月中旬に市内で上演されます。演じるのは働く者の社会めざして演劇活動を続ける「劇団はぐるま座」（本部山口市）。大阪市教育委員会などが後援。

物語は二〇〇一年秋、広島での原爆展のために市内を回った宣伝隊の体験をベースに構成され、「原子雲の下にいた人々が実際にどんな体験をしたのか『なぜこんな目に遭わなければならなかったのか』『あの戦争は何であったのか』『なぜ三百二十万人も殺されたのか』『敗戦と今の日本はどう繋がっているのか』などの問いに対する歴史の真実を浮き彫りにし、平和で豊かな日本を建設する力が日本民族の中にあることを確信させるものとなっています。

『峠三吉 原爆展物語』の一場面（広島市民と宣伝隊）

**◆港区などで準備進む**　公演に向けて実行委員会が結成され、準備が進んでいます。九月四日と十月二日には港区民センターで取り組みの報告や戦争体験の交流などが行われました。この中で港区の七十代女性は「昭和二十年六月の空襲で家族五人が生き埋めになった。自分は吹き飛ばされて無事だったが、助けを求めて駆け出した時、機銃掃射で狙われた。助かった時、母と妹は亡くなっていた」などと体験を語りました。

公演は十月十八日（火）十四時と十八時半からクレオ大阪東（城東区）、十九日（水）十八時半からクレオ大阪西（JR西九条駅歩三分）で。前売一般二千五百円。☎六九二七―〇九一五同劇団大阪事務所。

## 文化短信

**●田中在住男性がお墓参りを考える絵本を出版**　「お墓は幸せのシンボル。お墓参りを通して日本人の健全な心を養って頂きたい」と九月一日、ゆらちゃんのぱぱ（田中在住の四十代男性）が絵本「ゆらちゃんのおはかまいり」＝写真＝を出版した。かわいいイラストとやさしい文章で、①お供物の意味②家族の共同作業としてのお墓参り③お花・お香・水の意味④掃除の意義⑤お墓の前での願い⑥感謝の心⑦心の浄化としてのお墓参り―を柱に、お墓参りの本質的な意義や家族の絆について具体的に分かりやすく伝えている。ゆらちゃんのぱぱが原案と文、なかにし・まなてぃがイラスト。宗教人類学者で駒沢大学名誉教授の佐々木宏幹さんが推薦文。B5判32頁。定価800円＋税。問合せはTEL・FAX0725―45―9064和泉石材の北條さんまで。＜8面に読者プレゼント＞

## ライブ情報

**●三先のフォーク歌手ペドロさん**　十月二十九日（土）正午～生野本通商店街ストリートライブ▽毎月第一・三木曜二十時ザ・セラー（中央区西心斎橋）▽毎月第三火曜二十時かつおの遊び場（中央区宗右衛門町）▽毎月第二火曜二十時半ロージー（中央区西心斎橋）。

**●市岡元町在住の音楽ユニット「花☆キャラ」**　十月十九日（土）イオンモール橿原アルルステージ▽十一月二日（水）十四時～港区民文化のつどい出演。

# みなと区 突撃インタビュー 人物列伝

●――13

## 港区バレーボール連盟会長――萩野久美子さん（三先）＜上＞

「バレーボールは私を死から救ってくれた〝命の恩人〟であり〝終生の友〟です」と語る萩野久美子さん

バレーボールを通じて「生涯スポーツをみんなのものに」と活動する港区バレーボール連盟。その会長を十年に亘って務めてきた萩野久美子さん。間もなく迎える二十周年記念「連盟杯バレーボール大会」（十一月十三日）を前に、これまでの思い出と今後の展望を語ってもらいました。

◇

**◆まずはバレーボールとの出合いから**　私は大分県日田市の生まれですが、中学の時、校内スポーツ大会で活躍したのをきっかけに、当時まだスポーツとしては珍しかったバレーボール部に誘われたのが最初の出合いです。県立日田高校でも続けましたが、練習を終えて市内から田舎の自宅まで真っ暗な夜道を帰るのがとても怖かったのを覚えています。

**はぎの・くみこ**　昭和十八年大分県生まれ。三先小・港南中Pバレーを経て港南OB。港連盟事務長、副会長を経て平成十四年から会長。大阪府家庭人バレーボール連盟副会長、港区体育指導委員会会長など歴任。みなとすぽーつくらぶ代表。

## バレーは〝命の恩人〟

### 前会長と二人三脚　組織の土台作りに情熱

再びバレーボールと出合ったのは結婚して長女が小学校に入った時でした。出産の後遺症からか、そのころ腎臓病になり、医者から「このままやとあと一年で死ぬで」と宣告されていました。「それなら好きな事をして死のう」と開き直り、PTAバレーを始めたのです。それが良かったのでしょう、見事な恢復ぶりに、周囲から「ほんまかいな?!」と不思議がられました。その後、三先小、港南中とPTAバレーを楽しみ、卒業後は港南OBとして続けてきました。いわばバレーは私の〝命の恩人〟（笑）なのです。

**◆いいお話ですね。ところで前会長の故西林充子さんは、本紙のこの欄にも登場して頂いた、非常に存在感ある方でしたが―**

西林さんは平成十年に二代目会長に就かれる前から、副会長だった私に「二人三脚やで」と声をかけながら活動してこられましたが、四国の田舎育ちらしい大らかさ、豪快さがありました。人の道に外れるような言動にはとても厳しい一方、周りを包み込む優しさ、温かさがありました。人付き合いからあいさつ術に至るまで色々なことを学びましたが、何より〝人の道とは何か〟ということを教わり、今でも尊敬しています。

**◆その〝二人三脚〟時代の苦労話などあれば―**

平成八年に港スポーツセンターができるまでの場所の確保が大変で、区内はもちろん区外の高校などを転々としました。そんな中でも港連盟は、何事にも厳格さを求める西林さんの指導で、大会でも選手が審判や掃除などを果たしながら閉会まで全員が残るなど「きっちりしてる」と評判になりました。それは今に受け継がれています。

**◆大会の様子からもそれは感じます。ところで三代目になったいきさつは?**

西林さんは残念ながら平成十四年三月に亡くなられましたが、病院で最期までお世話させて頂きました。お元気な頃から「後継ぎはあんたやで」と口にしておられましたが、それでも一応、総会での選出という手続きを踏んで三代目に就いたわけです。（つづく）

この広告切りとり持参の方は
ご飲食料金を10%引（10月末迄有効）
※他のサービス券との併用はできません※
1本330㎖ 410円
1箱6本入り 2,280円
なにわの銘水で造った地ビール みねっぴ
贈答、パーティ、キャンプ等に!
全国発送OK（送料別途要）
★ピルスナーとメルツェンの2種あります★
市岡ビール工房
地底旅行
営業時間
平日　午後5時～11時
日祝　午後4時半～9時
定休　水曜日
お問合せ
南市岡3-6-26田中機械内
☎6581－3898
至弁天町　みなと通り　至横川　至大阪港　43号線　すし半 繁栄商店街　ヘアサロン　貨物線跡　尻無川筋　赤バス南市岡3

子や孫に自分の人生をのこそう!
四国から上阪し、工場で働きながら地域スポーツの組織化に力を注いできました。このほど後継者にバトンタッチして第一線を退きましたが、この間の正負の教訓を地域の若い世代に伝え残しておきたいと、冊子にして頂きました。（他区・70代女性、総料金6万円）
400字（原稿用紙1枚）で千円が標準料金です。
お話をききとり、冊子にしてお渡しします。
港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636

超高価買取!
指輪やピアス 25万円
大判小判 100万円
※上記はつい最近の買い取り価格例です※
出張OK
不要メガネ、片方だけのピアス、金歯、古銭なども買い取ります。
★激安販売もやってますよ★
見積無料
八幡屋商店街 WAI WAI キララ九条商店街店もよろしく!
営10～19時 0120-0101-53 休不定休
古物商許可:第62106150096〈身分証明書を持ってきてね〉

出版のことなら
社史・記念誌・企業PR誌・自伝・詩歌集
お気軽にご相談ください
地元の出版社
JDC出版 TEL6581-2811 FAX6581-2670 港区波除6丁目5-5